

2026年3月13日

発信：デジタルマネージ・ウィズエー株式会社
(上越妙高駅西口 フルサット内) 070-9101-9011

上越妙高駅開業 11 周年 駅周辺の人流定点観測レポートを公表

来訪者の“駅利用”の変化を 2023/4～2025/12 のデータで明らかに

デジタルマネージ・ウィズエー株式会社（新潟県上越市、代表取締役 横田孝宜）は、2026年3月14日に迎える北陸新幹線 上越妙高駅開業 11 周年を前に、当社が継続して観測している駅および駅周辺の人流データ分析結果をまとめたレポート（対象期間：2023/4～2025/12）を公表します。

当社では 2022 年より、Wi-Fi 通信規格を用いたセンサー観測により、上越妙高駅および駅周辺エリアの来訪・滞在状況を継続的に取得しています。

今回の定点観測データの分析では、2023 年以降、駅前エリアの来訪・滞在が継続的に増加しており、駅が単なる交通結節点ではなく、地域の行動拠点として機能し始めている可能性が示されました。

■ レポートから見える上越妙高駅エリアの変化

① 駅周辺来訪は 2023 年以降、増加傾向

観測データでは、2023 年以降、駅および駅周辺エリアの来訪・滞在が継続的に増加しており、2023 年と比較しておおむね 2 倍以上の増加があると推測されます。

② 鉄道利用とは異なる「駅利用」の広がり

駅周辺エリアでは、鉄道乗降客数以上の来訪・滞在と思われるデータが今回確認されており、飲食利用や待ち合わせ、地域利用など、駅を拠点とした活動の広がりが示唆されます。

③ 駅前是人が行動を起こす「前室」へ

データからは、上越妙高駅エリアが「通過する場所」から「滞在し、判断し、行動を起こす場所」へと変化しつつある可能性が示唆されます。



■ レポートの意義

これまで駅前の活性度は、体感や印象で語られることが多く、継続的な定量データに基づいて議論される機会は多くありませんでした。本レポートは、駅周辺の人々の動きを長期的に観測することで、地域におけるデータに基づく判断（EBPM）の出発点となることを意図しています。

■ 上越妙高駅開業 11 周年と駅前エリア

北陸新幹線 上越妙高駅は 2015 年 3 月に開業し、2026 年 3 月で 11 周年を迎えます。駅周辺では、飲食店や宿泊施設などの整備が進み、地域の玄関口としての役割も徐々に変化しています。

当社では今後も、駅周辺の人流観測とデータ分析を通じて、地域の事業者や自治体と連携しながら、データに基づく地域活性化の取り組みを進めていきます。

以上

リリース資料は当社 Web ページからダウンロードできます。

<https://wiz-a.jp/20260313release/>